スポットライト 注目される県内企業

vol.303

Data

（TDB企業コード：260850219）

株式会社　黒澤製作所

所在地	佐倉市大作2-7-1
代表者	黒澤　達哉氏（昭和37年２月生）
電話番号	043-498-5050
創業	1985年（昭和60年）10月
設立	1995年（平成７年）５月
資本金	1000万円
業種	空調ダクト製造、施工
（URL）	http://www.kurosawa-ss.co.jp

代表取締役社長　黒澤 達哉氏

高い技術力により原価低減を可能にする

㈱黒澤製作所は、1985年10月に現代表黒澤達哉氏が創業、1995年５月に法人改組した。

黒澤社長は創業以来、現場第一主義を貫き、技術力の向上に努めてきた。近年では、大手サブコン各社と直接取引し、業容を拡大させている。

今回は、黒澤社長に営業環境が厳しい中での当社の取り組みや今後の展開についてインタビューした。

―― 御社の事業内容について教えてください

「弊社は、空調ダクト工事を大手サブコン各社から受注して、ダクトの製造、施工といった一連の業務を手掛けています。

弊社が手掛ける空調ダクトは、大手サブコンから受注していることもあって、千葉県や東京都内などの再開発や大規模ショッピングモール、病院、空港関連といった大規模案件を中心としています。

ダクト製造は、サブコンから設計図データを預かり、ＣＡＤを利用して原寸図を作成、次にＣＡＭを使用して自社工場で製造しています。

完成したダクトを現場へと搬入して、弊社従業員と施工業者で施工しています。特に、工事現場では安全を第一に考えています。原寸図の理解度を高めることで現場での効率性が高まると同時に、作業がスムーズに運ぶため、事故を未然に防ぐこともできます。

従業員が安全に働けるように、原寸図の精度を高めるなど環境を整えることに細心の注意を払っています」

―― 御社の特徴を教えてください

「弊社の特徴としては、同業他社に先駆けて、ＣＡＤＣＡＭを有効に活用している事だと考えています。ダクト製造でＣＡＤＣＡＭは、工事担者がＣＡＤを活用して原寸図を作成し、製造担当

者がCAMにて入力作業を行うことになります。CADを最大限活用する事により、CAM作業の負担が80％程度軽減される上、入力ミスも未然に防ぐことができます。

また、CADで作成した原寸図は精度が高いことから、工事現場での作業効率にも結びついていきます」

── 業績が順調に推移している理由を教えてください

「最近は、都市再開発や商業施設、病院などの工事案件が増加しているように感じています。弊社では、先ほどのようにCADCAMの活用を得意としていますが、CAD活用の技術力を有することで作業負担を軽減できているため、原価低減が可能となっています。工事案件が増える中で、価格競争力も有していることで、今まで取引のなかった大手サブコンから受注を得られるようになったことが一因として挙げられます。

受注拡大に伴い、今までの工場が手狭となってきたことから、平成25年５月に佐倉第３工業団地内に本社工場を新設しました。受注拡大に対する製造体制の整備を確実に行えたことも、取引先からの信任に結びついていると思っています」

── 今後の展開について教えてください

「今は、大手サブコン各社からの受注を好調に確保できています。現状に満足するのではなく、技術力をさらに高め、お得意先様からの信頼を一段と得ることで、業容をさらに拡大させていきたいと思っています。

2020年には、東京でオリンピックが開催されることも決定しました。工事案件が一層増えることが予想されることから、早期に受注拡大に向けた対策を立てなければなりません。

業容拡大の過程の中で、従業員の新規採用や協力業者の施工機会が増えることになります。従業員および協力業者の技術力を高める目的もあり、この10月には安全衛生協力会を設立する予定です。設立に伴い、従業員や協力会社との会議を重ね、意思疎通を図りながらお互いに切磋琢磨し、「QCDSM（品質・コスト・納期・安全・士気（やる気）」のランクアップを図っていこうと考えています。

品質（技術力）が高く、コスト（原価低減）が低く、納期（工期）をしっかりと遵守、安全に作業し、士気の高い従業員および協力業者によって業務を遂行すれば、必ず結果に結びついてくるものと確信しています」

SPOT LIGHT